

2019年度後期 公開授業科目概要

1. 教育心理学

幼児教育学科 教授 宮崎 隆穂

子どもの発達における教育に関する心理学の内容を解説します。教育における評価・学習理論・動機付けなど幼児教育に関連して子どもをどのように理解すべきなのかを授業を通して理解できるようにします。

テキストは『コンパクト版保育者養成シリーズ 保育の心理学Ⅰ』西方毅・福田真奈(編著)2018 2000円+税を予定しています。

2. フードマテリアルズ

人間総合学科 准教授 海津 タ希子

近年のわが国では、経済の成長、流通の変化、および食品の貯蔵・加工技術の進歩などに伴い、多種多様な食品が豊富に回り一見豊かな食生活が営まれているように見えますが、その一方で食品を正しく理解して利用することが難しくなっています。

この授業では、食品の性質を学習することを目的とし、食品の主要成分および微量成分の化学的性質、調理、加工、保蔵中にこれら成分がどのように変化するか、食品成分と色、味、香り、物性などとの関わりについて総合的に解説します。

テキストは、『食物学Ⅱ－食品材料と加工、貯蔵・流通技術－』日本フードスペシャリスト協会 編 建帛社 2,200円の使用を予定しています。

3. 世界経済入門

人間総合学科 准教授 孫 犁冰

世界経済入門とは、世界経済の現状と発展傾向に関する入門講義です。国際貿易、国際金融、多国籍企業の基礎概念と実態について説明します。

UやASEANに代表される地域統合の発展と変遷や、先進国と新興国、資源国と非資源国などについても解説します。

テキストは『経済学入門』、米本清、宇都宮仁(編著)、未来出版、2018年9月、金額2,160円 を予定しています。また、別途、毎回プリントを配布します。

4. 子ども家庭福祉

幼児教育学科 教授 高橋 淳子

現代社会の家庭や子どもについての状況や問題となること、その支援や取り組みについて学びます。特に「児童虐待」が大きな問題として表れている今、単に子どもを救うということではなく、「子どもの権利」をどう守っていくのが、地域社会や保育者を含めた大人たちに求められています。今年度から、新しい視点を踏まえての教科、授業になります。

テキストは『保育と子ども家庭福祉』、櫻井 奈津子(編集) (株)みらい 2100円+税 を予定しています。その他、参考資料等は授業時に配布します。

5. 中国語Ⅱ

人間総合学科 准教授 孫 犁冰

中国語Ⅱとは、読解を通じて中国語を楽しむ授業です。

基本的な文法項目と読解の秘訣を身につけ、中国語での情報収集力を養います。近年、中国は産業・経済各方面において著しい成長が見られ、国際社会での存在感が益々高まってきました。本授業は、日本に近いようで遠い中国を知るための第一歩です。

日本語と同様に漢字を使っている中国語に対して親しみを感じながら、日本語との差異を楽しんでいきます。そして、何より、中国語で時事ニュースを読むことによって、視野が広がり、考える力が一層高まることが期待されます。授業中、適宜に中国の文化と社会事情、日中関係、世界経済動向も紹介していく予定です。

テキストは特になく、毎回、資料を配布します。

6. 社会調査論

社会福祉学科 教授 平川 毅彦

社会調査は社会事象を実証的に把握するための有効な手段であり、今日では研究に加えてメディア、一般企業、医療や教育の現場、そして行政など、多様な場で実施されています。本講義では社会調査の意義や目的、各種手法の特徴や効用などについて概観し、テーマの設定、仮説の構築、調査の計画、データの収集、データの分析、報告書の作成など、社会調査を実際に行いつつ、基本的な知識と技術を学習します。

原則として毎回パソコンを持参してください。またデータ分析にエクセルを使用します。受講前に基本的な操作方法はマスターしておいてください。

テキストは、米川和雄『ソーシャルワーカーのための社会調査の基礎』(北大路書房、1600円+税)を予定しています。

7. 国語

幼児教育学科 教授 峰本 義明

本講義は保育者として必要な、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養成することを目的とします。そのため「ライティング・ワークショップ」という形態で授業を行い、授業中にたっぶり読んだり書いたりして、実際的な作文能力を養います。

主な内容は、まずテキスト『ギヴァー』の読書会を行って読書レポートを書きます。次に個別自由作文となり、エッセイと創作(小説等)を書きます。これらの作文作業においてパソコンとインターネットを使用します。そのため、キーボード入力は苦手でも構いませんが、億劫がらずに作業に取り組んでくださることをお願いします。また、学生との話し合いに参加していただく機会が毎回あります。

テキストは『ギヴァー 記憶を注ぐ者』(ロイス・ローリー著、新評論、1620円)です。初回までにご用意をお願いします。

8. 社会福祉原論Ⅱ

社会福祉学科 教授 平川 毅彦

社会福祉という言葉が新聞やテレビをはじめとしたマスコミにおいて、また日常生活の場においてあたりまえのように使われています。しかし、高齢者や障害者の介助を行うことだけが社会福祉ではありません。「いま」「ここ」で生活している「わたし」にとって社会福祉とはどのような意味を持っているのか。社会福祉をめぐる様々な考え方を紹介するとともに、具体的な事例をもちいて考えていきます。前期開講科目「社会福祉原論Ⅰ」と連続していますが、単独でも受講可能です。

テキストは、平川毅彦『社会関係の主體的側面と福祉コミュニティ』(ブイツーソリューション、2200円+税)を予定しています。

9. 公衆衛生学

看護学科 教授 中平 浩人

看護職に必要な「公衆衛生」について講義します。また、わが国における公衆衛生上の問題点とその把握の仕方を講義し、それに対する考えをまとめる。予防に関する医療や環境問題についても講義します。この科目は日常生活と密接であるので、日頃から新聞やネット上でニュースに親しむようにすると一層理解が進みます。その中で出会うキーワードを如何に勘違いして認識しているかを痛感することになると思います。

テキストは厚生統計会 厚生指標[増刊]『国民衛生の動向2018/2019』厚生統計会(¥2,315+税)を予定しています。

10. 食の安全性

人間総合学科 教授 木村 一雅

食品の基本的な条件に、安全性であることがあります。本講義では食中毒の原因となる病原微生物の種類と性質、食中毒防止3原則、食品の腐敗や変敗の防止、食品添加物や遺伝子組み換え食品の安全性、環境汚染と食品汚染などの広い範囲の基礎知識を習得することを目的とします。中学や高等学校で生物を学んでいる方が、無理なく学べるように配慮します。食品は、微生物や寄生虫、昆虫などにとっても良い栄養源です。美味しく栄養豊富だからこそ汚染され、腐敗します。食品を安全に保管し、美味しくいただくための知恵を学びます。

テキストは『イラスト 食品の安全性』第3版 小塚論編 小栗重行、岸本満、小塚論、清水英世著 東京教学社 2016年 2500円を使用します。

1 1. 保健医療統計学

看護学科 教授 中平 浩人

人口統計・保健統計(公衆衛生学)や保健医療・福祉学・心理学に関する疫学的知見や成果の検証法としての「統計学」の基礎およびその応用を講義します。特に、「推定と検定」を中心に学ぶ予定です。基礎に関しては、教養科目「統計学」の講義内容をベースとし、この講義シリーズを通じて、情報収集・処理の方法と情報活用及び情報の取捨選択の方法を身につけます。その結果、各種国家試験合格レベルに必要な知識の理解・習得を目指します。

テキストは『基礎医学統計学 改訂第6版』加納克己/高橋秀人 共著 南江堂 2011 ¥2,300+税 を予定しています。

1 2. 特別支援保育論 I

幼児教育学科 教授 高橋 淳子

今までの「障がい児保育」から「特別支援保育」へと変わりました。子どもにはひとりひとり様々なニーズがあり、それを大切にして関わっていかうとする考え方、その中でも特に支援が必要な子どもたちには、個に応じた支援をという考えに立ちます。様々な障がいについての知識や貧困問題、母国語を話すことに困難を抱える子(外国籍の子どもも含む)、医療的ケアが必要な子どもたちと保護者への支援、保育での関わりについて学びます。

テキストは、教員の自作教材を使用し、参考文献等は、適宜提示します。

1 3. 言葉指導法 I

幼児教育学科 教授 峰本 義明

本講義は幼児教育学科1年生対象の、領域「言葉」に関する授業です。子どもの言語発達の過程、子どもの言語理解能力に関する理論を踏まえて上で、子どもの言語能力発達を促す児童文化財(特に絵本)の扱い方や保育への活用方法について、具体的に学びます。

主な内容は、子どもの言語発達過程の理論に関する学習、絵本の味見読書(本学の図書館に行き、多くの絵本に触れる)、絵本の読み聞かせの実演、などです。なお、言語発達過程についての学習の際にパソコンとインターネットを使用し、作文をしていただきます。そのため、キーボード入力は苦手でも構いませんが、億劫がらずに取り組んでくださることをお願いします。

テキストは初回の授業で指定しますので、その後にご用意ください。